## 事務事業評価資料

事	務事業評	価資料											
	施策名	安全・安心					听管部局	課名	兵庫県警	警察交	通部交	通規制	課
	事業名	パーキン ケット発給	グ・メー <i>?</i> 設備の整		ーキン	グ・チ	担当者電話	括番号	078-	- 3 4	1 – 7	4 4 1	
Ē	事業目的		を得ない	車両の駐車	車を時	間を限っ	て認め	ること	によっ	て、馬	註車需要	要に応し	こた交
事業内容		パーキング・メーター、パーキン 設、更新等の整備及び維持管理を					新事	業開始	冶年度	昭和48	年		
事	区分		22年度決			平成23年	度当初	刀予算額	Į.	平成	24年度	当初予	算額
· 業 に	事業費①			(O 千F	1			(0 千					千円)
!要す			17	73,552 千			14	5, 259 <del>-</del>					4 千円
る	人件費②	1	,641 千円	従事人 0.2人		1 62/	4 千円	従事人 0.22		1	, 602 <del>T</del>	-	事人員 0.2人
コス	総コスト	'	, 041 11.	従事人		1, 02-	+ 111	従事人		1,	, 002		事人員
\ \ \	(1)+2)		, 193 千円	0. 2人		146, 883		0.2		131,	, 386 <del>T</del>		0. 2人
事	業の目標	パーキン ト発給 パーキンパ ア リー リー リー リー リー リー リー リー リー リー は がっ に いっ リー リー リー リー リー リー リー リー リー リー リー リー リー	ング・メ- ・チケッ	基あたり( ーターは: ト発給設(	の利用 <sup>:</sup> 3. ○ 備は枠	状況等を 回以上、 あたり2	·勘 り るか . に。	県民の <i>=</i> ため、管	ニーズに 管理や整	儲等	に要す	る費用	と設置
		指標名		目標 標		22年度 実績		23年度 見込み	24年			成率(%	
	票の達成度	パーキング・ ター 1日 たりの平均回 (延べ利用回数当た	メー 1基あ 転数	3.0回	年度_	3.1回		3. 0回	3. 0[	回	H22 100. 0%	H23	H24 100. 0%
₹ 	·示す指標	パーキング・ ト発給設備 1枠あたりの 転数 (延 <sup>ベ利用回数当た</sup>	1日 平均回	2. 7回		(0.24 千 3.5回 (0.19 千		3. 3回	4. 1[	回	100. 0%	100. 0%	100. 0%
	必	要 性	・現在の <sup>i</sup> る。	車社会の3	見状か	ら、短時	間の駐	車需要	に応ず	る施領	まとして	て必要で	ぎあ
	有	効 性	・1日当が 出来ている ・1回当が ・短時間の	る。 たり利用:	コスト	は、概ね	一定し	ている	0	ってお	さり、本	有効な酉	己置が
評価結果	効 2	率 性	・利用者 <i>が</i> 撤去等を行						おいて	利用物	犬況に応	なじた勇	更新、
	民間・市町の	との役割分担	・公安委員 い。	員会が法令	令によ	り設置・	管理し	ている.	ので、	市町等	<b>斧が直</b> 持	接管理で	<b>ごきな</b>
	受益と負担	旦の適正化	• 利用者/	から手数制	料を徴り	収してお	り、公	*平性は	保たれ	ている	5.		
	方 向 性	新規		拡充			継続				手法の		
	実施手法の	廃止		<b>宿小</b>		合	凍結(	東結(休止)		延長		終期設定	
施	見直し内容	市町移譲		引移譲 		委託	PF		担割合				での他
方針	説る。	により設置	・管理して	こいるもの	)で、児	県民の需	要もあ	り有効	である。	ことか	ゝら、弓	き続き	・実施す
	明												

## 事務事業評価資料

争	務事業評	4価貸料											
	施策名	地域住民が真に角	<b>弾決を望む</b>	事案へのご	迅速・的研	霍な対応 所領	曾部局課名	警察本	部地域部	部通信指	令課		
	事業名	地域警察デジ	タル無線	の運用	費	担当	i者電話番号	078	-34	1 – 7 4	4 1		
Ę	事業目的	<ol> <li>警察官の</li> <li>リスポン</li> <li>的確な事</li> </ol>	スタイム	の短縮		,		ı					
Ę	事業内容	警察通信の不 れたデータ端末					警察庁か	ら整備さ	事業開	始年度	平成22	年度	
事	区分	平成2	2年度決算額			平成23年度当初予算額			平成24年度当初			刃予算額	
業に要	事業費①		(4,	936 千	円)	(59, 219 千円)				(59, 219	千円		
	于 <b>不</b> 良①		(	9, 871 🖪		118		38 千円	11			8,438 千円	
要 する	人件費②			従事人員				従事人員				事人員	
$\exists$		8	20 千円			812 千月				801 千円			
スト	総コスト (①+②)			従事人員		110 050		事人員	44,			事人員	
'	(1 2)	10, 6	91 千円	円 0.1人		119,250 千月		円   0.1人     [目標設定理由]		119, 239 千円		). 1人	
事	業の目標	地域警察官の	初動対応	の分の強	化		なる迅速	画像等のう 態化や幹音 □応える衫	『による的	り確な指揮	₮を徹底Ⅰ	」、時代	
				目	標	22年度	23年	<b></b>	4年度	達	成率(%	: (%)	
		指標名	E	標値	年度	実績	見込む		目標	H22	H23	H24	
	票の達成度	增設分散基地局 持管理費	の維	68基	22年度	68基 (19 千円)	68基		68基 12 千円)	100. 00%	100. 00%	100. 00	
を	示す指標	データ通信用類 (PSD) の運用		, 377台	22年度	1,377台 (7 千円)	1, 377 (76 =		377台76 千円)	100. 00%	100. 00%	100.00	
評価結果	有 刻	e 性 れる・管 ・・・ 的・	がある。 警察 現場 関場の 警察 関場の 警察 で で で に で に で に で に で に で に で に で に で	の不感地帯 での現在地 幹部によ なに有効な 気に複や事	新解消に ゆや画像等 こる的確な で画像情報 事案の共同	下街におけい から いっぱい かいかい かい	における。信が可能よる指揮ることが	雑踏やテ となれば の徹底が でき、事:	ロへの迅 、リスポ 図られる 案の早期	速な初動 ンスタイ 。 解決につ	対応が図 ムの短縮 ながる。	られ 、動態	
,		との役割分担 											
					:	(継続)			実施手法の見直し				
	方 向 性	 廃止		拡充 縮小 縮小				医枕 <i>)</i> 結(休止)				<sup>見直し</sup> 終期設定	
実施	実施手法の 見直し内容	市町移譲		移譲			PFI		合変更	事務改		の他	
方	・警察 活用す	通信の不感地 る。	帯を解消	し、警	察官の交	効果的な運	用がでる	きる地域	警察デ <sup>·</sup>	ジタル	乗線を引	き続る	

## 事務事業評価資料

	施策名	サイバー空間の	の安全と秩序	を維持する	ための対	策の推進 所管	部局課名	兵庫県警	警察本部生	活安全部	部生活	安全企	画調
	事業名	サイバー狐					者電話番号	0,0	-34 <sup>-</sup>				
Ī	事業目的	サイバー空 ③適性捜査			有害情報	等サイバー	犯罪の	①取締	りの強化	、②取約	締りの	D効率 <sup>,</sup>	化、
Ī	事業内容					を取締まる本 備・維持す		È管課及	事業開	始年度	平成	24年月	叓
事	区分	平原	戊22年度決	·算額		平成23年度	当初予	算額	平成	24年度	当初	予算額	湏
業に	事業費①			(0 千		(0							
要す				0 =			0 千円		i i				
る	人件費②	0 <del>1</del>		従事人 9 0.0人		n <del>-</del>	従事人員 F円 0.0人		801 千円		<sub>-</sub> -	従事. 0.1	_
コス	総コスト	0 +		従事人員				事人員			1 1 3	従事人員	
<u>\</u>	ベコスト (①+②)					0 =			7,573 千円			0.1人	
		· 111			2.27.		[目標設	定理由]	7,070 113				
事	業の目標	警察本部や警 化、効率化	§察署のサイ	/バー犯罪(	こ対する〕	取締りの強	ることに したサイ	こより、ネ	警察署に犯 マットワー 単の取締り	-クやハ-	イテク	機器を	利
		指標:	<b>4</b>	目	標	22年度	23年月		4年度	達	成率	<b>太</b> 率(%)	
		サイバー犯罪捜査用 機材整備警察署数		目標値	年度	実績	見込む	4	目標	H22 I	H23	3	H24
				48署	24	(0)	/o -		48署			100.	)O. C
	票の達成度 ·示す指標					(0 千円)	(0 =	-円) (	84 千円)				
		要 性	法·有害情 等新たな である。	情報や続 <i>発</i> 通信機器	きするザ の解析 <sup>・</sup>	間の脅威が: イバー攻撃 や証拠保全:	とに対す 措置をす	る取締 トるなど	りを強化 、サイル	じ、ス バー犯	マー 罪捜3	トファ 査に必	サン要
	必	要性 性	法・有 等で を す が イ 行 ー が 可 が れ で れ で る が で る が う で う で う で う で う で う で う で う で う で う	情報や続発 通信機器 パトひの おとよる。	きするサ の解析・ ル及拡大の 種相談・	- イバー攻撃 や証拠保全 サイバー犯 の防止等の こ対する迅	をはいます。 性置をする まに対す 重点を対応 連な対応	る取締 するな 初 数 で なより れたり れたり れたり れたり れたり れたり れたり れたり れたり れた	りを強化 、サイル 捜査が行 J止効果の f在化す	い、スパーで が底でで の高い る る 犯罪が	で見る。では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	トファ 査に必 青少年 J 中 青報の	ナ要 のン把
価	必	安 性	法等で サ非タ握 警害なる バ・ネ可 本	情報 パ害トと 事	<ul><li>*するサーク</li><li>の ルの種 限</li><li>で で で で で で で で で で で で で で で で で で で</li></ul>	-イバー攻撃 や証拠保全 サイバー犯 の防止等の	学に対す 措置を対す 正対を終す 連に対対が 連まな対の名	るるない あっぱい おり おり を おり を を を を を を を を を を を を を を	りを強化 、サイル 捜査が行 J止効果の f在化す	い、スパーで が底でで の高い る る 犯罪が	で見る。では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	トファ 査に必 青少年 J 中 青報の	ナ要 のン把
価	必	要 性  効 性 	法等で サ非タ握 警な 十行一が 察る 一被ッ能 部と	情報 パ害トと 事	<ul><li>*するサーク</li><li>の ルの種 限</li><li>で で で で で で で で で で で で で で で で で で で</li></ul>	イバー攻撃や証拠保全 サイバー犯の防止等の こ対する迅 察署事件担	学に対す 措置を対す 正対を終す 連に対対が 連まな対の名	るるない あっぱい おり おり を おり を を を を を を を を を を を を を を	りを強化 、サイル 捜査が行 J止効果の f在化す	い、スパーで が底でで の高い る る 犯罪が	で見る。では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	トファ 査に必 青少年 J 中 青報の	ナ要 のン把
評価結果	必有 勃 大間・市町の	要 性 动 性 率 性	法等で サ非タ握 警な 十行一が 察る 一被ッ能 部と	情報 パ害トと 事	<ul><li>*するサーク</li><li>の ルの種 限</li><li>で で で で で で で で で で で で で で で で で で で</li></ul>	イバー攻撃や証拠保全 サイバー犯の防止等の こ対する迅 察署事件担	学に対す 措置を対す 正対を終す 連に対対が 連まな対の名	るるない あっぱい おり おり を おり を を を を を を を を を を を を を を	りを強化 、サイル 捜査が行 J止効果の f在化す	い、スパーで が底でで の高い る る 犯罪が	で見る。では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	トファ 査に必 青少年 J 中 青報の	ナ要 のン把
価	必有効 計 登益と負担	要性 性 生の役割分担	法等で サ非タ握 警な 十行一が 察る 一被ッ能 部と	情報 パ害トと 事	きの ルの種 課員 の が大談 警効 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	イバー攻撃 サイン 大小一次 大小一次 大小一次 大小一次 大小一次 大小一次 大小一次 大小一次	学に対す 措置を対す 正対を終す 連に対対が 連まな対の名	るるない あっぱい おり おり を おり を を を を を を を を を を を を を を	りを 強イ 技 を サ を サ を 対 で で の で の の う う う し の う う う う し の う う う の う う う う	い、スパーで が底でで の高い る る 犯罪が	マーオ き取端 曳 ・	トファ を すり 特 可 能 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	ナ要 のン把
価	必有 勃 大間・市町の	要性 効性 性 を性 との役割分担 旦の適正化	法等で サ非タ握 警な イ行ーが 察る バ・ネ可 本こ 一被ッ能 部と	情通 パ害トと 事で	きの ルの種 課員 の が大談 警効 で大談 で対対 で大談 で対対 で大談 で対対 で大談 で対対 で大談 で対対 で対対 で対対 で対対 で対対 で対対 で対対 で対	イバー攻撃 サイバー攻撃 イバル イバル イバル イバル イグ イグ イグ イグ ・	<ul><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li><li>は</li></ul>	るる おもり きょう 動 打港 「段	りを 強イ 技 を サ を サ を 対 で で の で の の う う う し の う う う う し の う う う の う う う う	だい、	マ 世 ・	トファ を すり 特 可 能 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	ナ要 のン把 と / / / / / / / / / / / / / / / / / /